

【会場 小林小学校（12月17日開催）】 小林小学校・平尾小学校における学校再編整備計画案の作成に向けた説明会（ご質問と回答）

〔開催概要〕

・開催日時 令和6年12月17日（火） 19時00分～21時25分

・開催場所 小林小学校 多目的室

・参加者 地域・保護者の方々 49名

・説明者及び関係者

【大正区役所】 古川 区長、北吉 副区長、前田 こども・教育担当課長、二階 教育施策担当課長代理 外3名

【教育委員会事務局】 笹田 学校適正配置担当課長、岡永 学校適正配置担当課長代理、佐野 指導部指導主事、東 学事課担当係長

【小林小学校】 山本 校長

【ご質問と回答】

●小規模校のメリット・デメリットについて

項 番	ご 質 問	回 答
1	小規模校と大規模校、学校にも色々なカラーがある。小規模校は、それはそれで良いのではないかと。皆で協力して残すことはできないものか。	小規模校にも児童が互いによく知り合えるなどメリットもありますが、一方で、クラス替えができずに人間関係が固定化しやすいなどデメリットが多くあります。本市としては、適正規模を下回る小学校については一定の集団規模を確保するという学校の適正配置を進めていく必要があると考えています。
2	全国的に子どもが増えていない現状の中で、今の条例はおかしいと思う。12学級から24学級が適正規模というのは誰が決めたのか。児童数が少なくなれば少人数学級にするチャンスだと思う。子どもたちにとって何が一番いいのかということを考えてほしい。みんなでこの条例を撤回させて、学校を潰すのをやめる運動をやれたらいい。	適正規模については、1学年で2クラス×6学年で、クラス替えができる学級数を確保するため、取組を進めています。少人数学級と学校規模というのは別の議論としてお考えいただきたいと考えています。一つの学年に複数のクラスがあり、担当する教員も複数いるといった状況を作ることにより、子どもたちの多様な人間関係が構築でき、教員の活動の幅も広がります。本市としては、子どもたちの最善の利益を考えて取り組んでおります。
3	1クラスずつしかない学校であれば、1～6年までの先生で意見交換するなど工夫はいくらでもできると思う。外国では20人や25人学級が当たり前になっている。今の条例はおかしいと思うし、このまま続けば大正区だけではなく、市内のあちこちで統廃合が進むのではないかと。区役所の職員には予算確保の声を上げていただきたい。	
4	諸外国では大体1クラス20人以下である。今の小林小学校は1年生は少ないが理想的な人数である。クラス替えができなくても全く問題ないと思う。大阪市は1クラス35人いるところは半分に分けるぐらいしなないといけないと思う。鶴浜小学校と鶴町小学校が統合されたが、鶴町から小学校がなくなったわけではない。小林町会の中に小学校がなくなることが大きなことである。小林小学校をなくすのは考え直していただきたい。	

●再編方法について

項 番	ご 質 問	回 答
5	統合するならなぜ人数の多いところへ行くのか。小林小学校でもいいのではないかという意見もある。さきほどの自転車の件もそうだが、参観日など到底平尾小学校まで歩いていけない。そういう細かなところを考えていただきたい。	学校配置の適正化の考えとしては、原則児童数が多い学校の校舎を使用することとされています。また、施設面で比較した場合、平尾小学校の方が新しいことから、平尾小学校に統合する案をお示ししています。自転車の件については、今後、学校適正配置検討会議の議題とさせていただきたいと考えています。

●今後のスケジュールについて

項 番	ご 質 問	回 答
6	令和10年4月に統合予定とのことだが、統合の決定は何年前にされるのか。それまでに説明会は何回予定されているのか。	学校再編整備計画案を教育委員会会議に上程し、審議・議決されれば速やかに学校再編整備計画を区ホームページ等で公表します。公表時期は、教育委員会会議での審議状況にもよりますが、最短で今年度中を見込んでいます。説明会については、令和6年7月と12月に2回ずつ、計4回開催しました。再編整備計画公表後は学校適正配置検討会議や（仮称）跡地活用検討会議を設置し、地域の皆さまにメンバーとして関わっていただくことにより、意見交換の機会を設けてまいります。
7	保護者や地域の方も色々意見があると思う。学校適正配置検討会議の委員が5名だけとかではなく、話ができる場を適宜設けていただきたい。	学校再編整備計画の公表後、学校適正配置検討会議のなかで、地域、保護者の方々の意見を含めしっかりと検討してまいります。

●跡地活用について

項 番	ご 質 問	回 答
8	小林小学校はなくなってほしくはないが、仕方がないのであれば早く決断してもらって、防災拠点や生涯学習、学校開放がどういう風になるのか、次のことを考えていきたい。できれば、この学校を地域の活動にもっと使えるような場所として残してほしいので、その話を早く進めてほしい。	地域活動について、地域まちづくり実行委員会を統合するよう区役所からお願いすることはありませんが、統合によって地域活動が停滞するようなことがないよう、特に跡地利用についてはしっかり時間をかけて検討してまいります。「引き続き防災拠点等の機能を継続又は新たに設ける必要があるもの」と認定された場合、（仮称）跡地活用検討会議を立ち上げるので、そこで具体的に話し合いができればと考えています。

●まちづくりについて

項 番	ご 質 問	回 答
9	学校がなくなると、大正区から若い人が出て行ってまちが疲弊する。法律に縛られて統合させなければと思っているかもしれないが、大正区のことをよく考えてほしい。	大正区では人口が少しでも増加するようにまちづくりに取り組んでいます。令和5年10月から令和6年10月にかけて、推計人口は200人ぐらい増加しましたが、小林地域の子育て世代の子どもがいる世帯が増加しているわけではなく、小林小の適正規模を考えなければなりません。条例を遵守しつつ人口の増加に向け、引き続き努力してまいります。
10	子どもたちの声が聞こえるというのはすぐ癒されるし、学校が近くにあり、子どもたちの通学する姿というのは地域の者にとって励みになる。前回の説明会で、小林小北側の市営住宅には新しい方は入れないという話があったが、このままであれば小林地域も高齢者のまちになると思うので、若い人が住みやすいまちづくりという観点でもっと頑張ってほしい。	市営住宅については、建替えの間に仮移転していた方々が戻るだけの量を供給するのが原則です。例えば新しい住民の入居枠を設けた方が良いのではないかといった意見を市に伝えていくことはできます。ただ、予算には限りがあり、大阪市全体として色々な施策の中から何を選択していくか考えながら取組を進めています。条例等のルールを守りながらさらに大正区が良いまちになるよう取組を進めていきたいと考えています。
11	市営住宅は3～4年後には150世帯ぐらい増設されるという話を聞いたが、それは間違いなのか。もし増設されるのであれば、ファミリー層の流入が期待できるのではないのか。	
12	過去に区政会議委員をしていた時から大正区の人口減少の話があり、色々な意見を出させていただいたが、結果的に効果は上がっていないと思う。もう少しターゲットというか、小学生が増えるような大正区の良さを伝えるなどの工夫やアイデアも必要ではないか。大正区は元々工業地帯で住宅が建てられないというのはわかっているが、工場も減少しているので、その跡地を住宅地に変えていく施策は取れないのかなどアイデアはどんどん出てくると思う。	子どもだけをターゲットにし、かつ実効性がある案があればどんどん発案していただければ取り上げていきますし、区役所としても案を考えていければと思います。 民地である工場の跡地活用について区役所が提案できる制度は今のところありませんが、売却されて倉庫になっていくとか交通量だけ増えるということは望ましくないもので、魅力的なまちにしていかなければなりません。大阪市全体の都市計画の中での話になりますが、引き続き知恵を絞って取り組んでまいります。

●その他

項 番	ご 質 問	回 答
13	区ホームページには「小学校の適正規模については、有識者等で構成される「大阪市学校適正配置審議会」の意見具申を受け、市会等でも議論が積み重ねられた上で定められております。」と記載されているが、有識者はどういったメンバーで、意見具申はいつ出されたのか。小林小学校の話を議論されたのか。また、市議会でも議論されているのか。	大阪市学校適正配置審議会のメンバーは、教育分野や都市計画分野の学識経験者、地域コミュニティや保護者の代表の方々に委嘱しています。 意見具申は、平成22年に出了されたものが最新で、これをもとに平成26年に指針を策定し、令和2年には大阪市学校活性化条例の中で学校配置の適正化の進め方のルールや基準を明らかにし、それに基づき取り組んでいます。以前は、審議会において個別に統合事案の審議を行っていましたが、現在は、条例等のルールや基準に基づき、区担当教育次長がそれぞれの学校の状況等も踏まえ検討を進めています。市会では、学校の設置・廃止を定める条例の改正時に議論いただく形になります。
14	平尾小学校での説明会には自転車に乗ってこれないと書かれていたが、自転車に乗って参加できるようにしてほしい。	学校の安全管理上、自転車の学校内への乗り入れは難しい旨、学校に確認のうえそのように記載したのですが、再度、平尾小学校に確認させていただきます。
15	先日のテレビ番組で、統合時点で120人ほどだった小学校が、ここ10年でタワーマンションが急増し、子育て世帯が増えたという話題があった。人口減少は予測がつかないと思うので、小林小学校をなくさなかつたら良かったという状況になるかもしれないので、統廃合しないで存続してほしい。	条例において学級数の適正規模は12学級から24学級と幅があり、過大規模校となれば適正配置の検討を行うこととなります。小林小学校においては、このような想定にはないということでお話させていただいています。

16	子どもが1年生で入学して3カ月余り経った7月に急に統合の話が出てきたが、学校選択制で選べたはずなので正直入学する前に知りたかった。1年生の子が5年生という中途半端な時に統合することになるので、できれば1年生が卒業するまで待ってほしい。統合してすぐに修学旅行や運動会となると、心と体の変化に追いつかない心配がある。	
17	単学級の弊害というのはすごく感じるので、統廃合はどんどん進めていくべきだと思う。子どもが小学校に通う6年間は変更させたくなかったので入学前に統合があるのか問合せをしたが、学校の統廃合をするとの情報がなかったので小林小学校に入学させた。しかし、入学3カ月で統廃合の説明があり、とてもショックだった。子どもは3人とも学校選択制で一緒の中学校へ進学させようと思っており、第一子が中学校へ進学する令和8年度に今1年生の第三子と同じ中学校区の小学校へ転校させることができれば途中で第一子と一緒に登校できて安心して負担の軽減になると考えた。第二子は小林小学校で卒業できるのでそのまま通わせ、第三子だけ別の小学校へ通わせることが可能かどうか区役所に直接尋ねに行ったところ、原則認められないということを初めて知った。門前払いされた区役所の対応もすごく残念だった。この統廃合による転校先の選択の権利を強く求めたい。	小林小学校については、今年度の新1年生が11人であったこともあり、全児童数が120人を下回ったことから学校配置適正化の対象となりました。今年度の1、2年生は、統合予定の令和10年4月には統合先の小学校に移ることになるので、小林小学校では卒業できないということになります。 一方で、学校再編という何十年に一度の局面に際して、必ずしも杓子定規な運用をするつもりはありません。個別の事情に対応できるかどうか、教育委員会と話し合いを始めたところです。今、具体的な案はお示しできませんが、柔軟な対応ができるよう内容を検討してまいります。